

## スクエアダンスの魅力とS協（会員）の役割

会長 沖吉 和祐

### 1. 愛好者・会員の減

人々の日常生活・健康・社会経済活動等に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行に、SD界も大きな衝撃を受けました。2020年2月に、政府から「新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に備えた対策の基本方針」が示され、それ以後、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等により、例会、パーティー、各種の行事を控えるなどSD活動は大きな制約を受けることとなりました。

1万5千人を目前にしていたS協会員数は、高齢化の影響もあり2014年以降、漸減傾向にありましたが、今回の新型コロナウイルス感染症の影響で、体験会や初心者講習会が開けなかったことから新たな会員を迎えることができず、また、例会、パーティー等が行えなかったことにより例年以上の退会者があり、今年度の会員数は、前年度に比べ10数%の減となりました。

### 2. 地道なS協の活動

SDを通じて会員の皆様が健康で、充実した生活を送っていただけるよう、S協は、会員間の交流や繋がり、海外のSD界との連携の場をつくるとともに、楽しい例会やパーティーを実現できるよう各クラブそしてリーダーやコーラー、キュアー等の活動を支えてきました。

コロナが落ち着いた後、SDを心おきなく踊り、SDの輪を広げる活動ができるよう、コロナ禍の下でも、S協では様々な努力をしています。総会、理事会、執行理事会、そして25を超える専門委員会、小委員会、タスクチームやワーキングチーム、さらに7つの統括支部は、WEBやメール、書面で会議を重ねています。また、コロナ禍の下、リモートによる行事など新しい試みを進めています。事務局は、こうした活動をサポートするとともに、会員登録、ライセンス保持者や技術指導者データベースの管理、出納・経理、会員の皆様からの問い合わせへの対応等に携わっています。こうしたなかで最も大切にしているのが、S協ニュース、ホームページなど広報を通じた会員との繋がりです。目に見えないところがありますが、S協は、平時以上に地道・着実な活動を続けています。

### 3. 会員の安全が第1

コロナ禍の下、会員の安全面に一抹の不安を感じ、全日本コンベンション、統括支部のジャンボリー、対面の講習会等は全て中止し、各クラブにも感染状況に応じた活動の自粛をお願いしました。

一方、コロナ禍においても、会員の皆様が安全に活動いただくための情報をS協ニュースやホームページで示してきました。感染症への対応策、例会やパーティーの再開にあたっての指針や、「新型コロナに負けるな」コーナーなどです。また、「一人で楽しめるダンス」などSDアルバム、ステイホームのためのツールを提供させていただきました。

特に、S協の広報誌である「S協ニュース」では、「改めて感じるSDの価値」

(2020年7月)、「例会再開へのチャレンジ」(2020年9月)、「新しい暮らしにおける新しいSD」(2020年11月)、「去年のピンチは今年のチャンス」(2021年1月)「SDが取り持つ人のつながり」(2021年3月)、「聞いて聞いて私のクラブの自慢」(2021年5月)、「“有難う”を言いたくて」(2021年9月)など、コロナを克服していく勇気・元気を共有できるテーマを取り上げました。

#### 4. SDの魅力

今回のコロナ禍により、生活の一部となっていたSDを踊れないことによる寂しさや虚しさを感じる一方、SDの楽しさや、SDを通じての人との繋がりの大切さに気付かれた方も多いと思います。特に厳しい予防対策のもと例会を開かれたクラブにおいては、やっと仲間に出会った時の感激と踊ることの喜びを感じられたのではないのでしょうか。

SDは、音楽に合わせて歩くことを基本に、ダンサーとコーラー、キュアーが共鳴しあって踊ることにより、楽しさと爽快感を共有できるスポーツです。競い合うのではなく、みんなが協力し支え合うことにより、踊った後の達成感と連帯感を味わうことができます。

- ・体調に合わせて無理なく踊ることにより、身体的にも、精神的にも、社会的にも健康になることができます。認知症の予防効果等も認められています。
- ・礼儀正しく、思いやり、友情を基本とするスポーツであるSDを通じて、新しい友人、仲間、パートナーを見つけ、繋がりを広げることができます。
- ・各人の希望と都合に応じて、時間を大切にしつつ継続することにより、上達する楽しみと喜びが生まれます。
- ・マナーを守りながら、耳を傾け、互いに協力することにより、自ずと笑顔が生まれ、幸せを感じるようになります。

このように多くのメリットをもつSDを広めていくことは、S協の使命であり、会員の皆様の生きがい、やりがい、そして誇りになることでしょう。

#### 5. ポストコロナに向けて ～SDルネッサンス～

現在、課題対策特別委員会が整理した「SDの普及、S協の基盤整備のための課題」(①会員増につながる普及活動の在り方、②財務基盤を整備するための方策、③S協を取り巻く環境への対応)について、専門委員会やタスクチームで今後の対策を検討しています。その結果は、2022年度を初年度とする第4次中期行動計画に反映します。

コロナ禍は、SD界に甚大な影響を与えましたが、SDの楽しさ・大切さ、各自のSDへの気持ちを再認識するチャンスになりましたし、また、コロナへの対応から生まれたリモート機能の活用を広げるなど、SDの普及に新しい可能性が生まれました。

私たち日本のSD界は、ベーシック、メインストリームを基本にしつつ、先ずSDの裾野を広げる(結果として峰を高める)ことを重視してきました。ポストコロナにおけるSD界の発展には、SDの理解者増、体験者増、愛好者増が不可欠です。この役割の一端を、S協会員みんなで担おうではありませんか。会員の皆様の“誇り”と“繋がり(連帯)”をもって、SDを続けて参りましょう。そうすれば、Square Dance Renaissance(スクエアダンスの復活)が進み、会員ひとり一人の楽しさ、幸せに返ってくるでしょう。

“Remember Square Dance” (スクエアダンスを忘れないで)

“Reunion Square Dancer” (スクエアダンサーの再会を)